

公民館の利用者になって

現役時代、公民館とは全く無縁だった。仕事に追われスケジュール通り、全国を飛び歩き、週末昭島の住民となった。

退職したら、時間に縛られず趣味三昧に過ごそうと決めていた。少しの年金をフルに使って。陶芸、油絵、盆栽の文字通り趣味三昧である。

退職して六、七年は、一人で活動していた。

ある日、庭を覗き見している男性を見かけ「何か？御用ですか？」と声をかけた。

「良い盆栽があるね」と言われ納得した。「私は、昭島市盆栽会の者です

が、盆栽会に入りませんか？第一日曜日に公民館で定例会をやっていますから」と誘われ、妻に相談した。妻は「市内に友達が居ないのだから行ってみたら」と背中を押した。これが公民館に行くきっかけだった。盆栽会に入っ間もなく文化祭があり、盆栽会は3階の美術工芸室が展示場だった。廊下には、油絵や水彩画が飾ってあった。美術協会の受付があり、そこにおられた先生(後で知った)



「行政機関が、政策立案等につき、学識経験者や利害関係者の意見を反映させる為に設置する合議制の諮問機関となっている。文化協会及び各団体も公民館を利用して見を述べれば良いと解釈した。公民館は、戦後日本の民主主義を醸成する礎となつた」と聞いた。熟成した民主主義の中で公民館の役割がどうあるべきかが問われている。学識経験者の意見を拝聴し、公正な判断で公民館発展に寄与できたら幸いである。

公民館運営審議会委員

長野 榮二

公民館運営審議会活動報告

から、活動内容(毎月、クロッキーと写生会をやっていること等)を聞き、入会した。この様に公民館活動の陰で、絵を描き、盆栽を作り、酒を飲む仲間ができ、それらを包括する文化協会にまで仲間が出来た。人生万歳である。

そして昨年、公民館運営審議会委員に指名された。審議会とは、広辞苑によると

「行政機関が、政策立案等につき、学識経験者や利害関係者の意見を反映させる為に設置する合議制の諮問機関となつて

いる。文化協会及び各団体も公民館を利用して見を述べれば良いと解釈した。公民館は、戦後日本の民主主義を醸成する礎となつた」と聞いた。熟成した民主主義の中で公民館の役割がどうあるべきかが問われている。学識経験者の意見を拝聴し、公正な判断で公民館発展に寄与できたら幸いである。

公民館運営審議会委員
長野 榮二

3月8日(金)

都公連委員部会担当委員より2月に開催された第55回東京都公民館研究大会についての報告がありました。

事務局からは、終了した事業及び始まる事業について報告がありました。また、小ホール特例の利用について申請があった団体の審査を行いました。

最後に冊子「新しい公民館像をめざして」を参考に公民館の役割等について研修会を行いました。

4月12日(金)

館長より4月1日付けの職員異動について報告がありました。

都公連担当委員より第55回東京都公民館研究大会第四課題別集会について総括がありました。

公民館主催事業では事務局より終了した事業の報告と4月に開催される事業についての説明がありました。

最後は公民館の役割等についての研修会を行いました。

公民館利用者連絡会 けいじばん

利用者連絡会の総会が開かれました

公民館利用者連絡会は、二〇一九年度の総会を、5月12日(日)午後2時から、公民館の学習会議室で開催いたしました。総会では次の事が決まりました。

- * 世話人会を定例化します。
- * 公民館との話し合いを随時行います。
- * 公民館だよりに、公利連の掲示板でお知らせをいたします。

(公民館との連携事業)

- * 利用者懇談会
- * 東京都公民館連絡協議会の研究大会への協力
- * 公民館まつり
- * 学習会
- * 団体活動室のボックス抽選会などです。

※公利連へのご参加を!

なお、まだ公民館利用者連絡会に参加されていない団体やサークルをご存知でしたら参加方を呼び掛けていただければ幸いです。

(代表・山崎)

公民館職員の異動がありました(4月1日付)

- | | |
|----------------------|-------|
| <転入> | <採用> |
| 吉村 久実 公民館長 (社会教育課から) | 小松 美香 |
| <転出> | |
| 並木 映子 前公民館長 (職員課へ) | |
| 若名 高彰 (生活福祉課へ) | |

